

外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014年4月発行）

株式会社ディスコ（本社：東京都文京区、代表取締役社長：夏井丈俊）は、日経就職ナビ2015に登録している外国人留学生を対象に、就職活動やキャリア意識について調査を実施しました。（調査期間：3月4日～3月23日）

**1. 就職戦線「厳しい」との見方 前年よりも10ポイント減少**

就職戦線を「非常に厳しい」と感じている外国人留学生は、2013年卒者では31.0%でしたが、徐々に減少し、2015年卒者では22.7%まで下がりました。（図表1）

**2. 志望業界 文系1位「商社（総合）」、理系1位「情報・インターネットサービス」**

文系では「商社（総合）」が41.0%と一番多く、次に「電子・電機」、「商社（専門）」が続き、商社が人気です。一方、理系では「情報・インターネットサービス」が39.8%で一番多く、「電子・電機」と「情報処理・ソフトウェア・ゲームソフト」が同率で続き、情報系が人気です。（図表2）

**3. 企業研究をする上で知りたい情報は、「外国人留学生の採用実績」**

外国人留学生が企業研究をする上で知りたい情報は、「外国人留学生の採用実績」が83.7%と圧倒的に多い結果となりました。「同じ出身国の社員の採用実績」や「同じ出身国の社員の現在の在籍者数」については、ともに3割に満たず、同じ出身国であることに強くこだわる外国人留学生は少ないようです。（図表3）

**4. 就職後のキャリアプランは、「一つの会社に定年まで」（46.6%）が最多**

就職後のキャリアプランについて聞いたところ、「一つの会社に定年まで勤めたい」が46.6%と最も多い結果となりました。

また、出世希望ランクについては、「社長」と回答している学生が35.8%と最も多く、日本人留学生や国内学生と比較し、より上位の役職を目指していることがわかります。（図表4）

**5. 企業に評価してもらいたいことは、「コミュニケーション能力」**

採用選考にあたって企業に評価してもらいたいことについて、複数選択してもらったところ「コミュニケーション能力」（53.0%）が最も多く、次いで「熱意」（49.5%）、「異文化対応力」（39.3%）と続き、いずれも国内学生の回答を大きく上回る結果となりました。（図表5）

**6. 日本の就活への違和感、1位は「筆記試験」**

外国人留学生が、日本の就職活動について違和感を覚える制度や習慣については、「筆記試験」（37.4%）が最も多く、続いて、「服装」と「就職活動の時期」がともに32.9%でした。筆記試験については、海外ではレジュメ（履歴書）と面接が選考のメインであり、筆記試験は行わないケースが多いためと思われます。（図表6）

《調査概要》

調査対象：2015年3月卒業予定の外国人留学生（日経就職ナビ2015に登録している外国人留学生4,092人）

回答数：313人

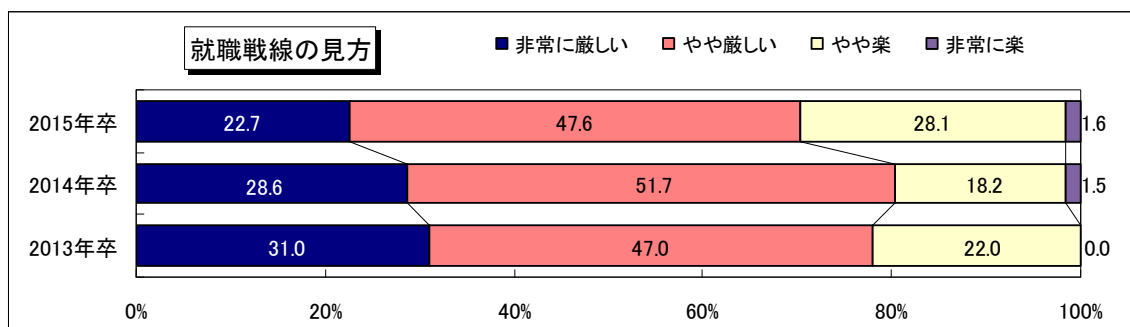
調査方法：インターネット調査法

調査期間：2014年3月4日～23日

調査機関：株式会社ディスコ キャリアリサーチ

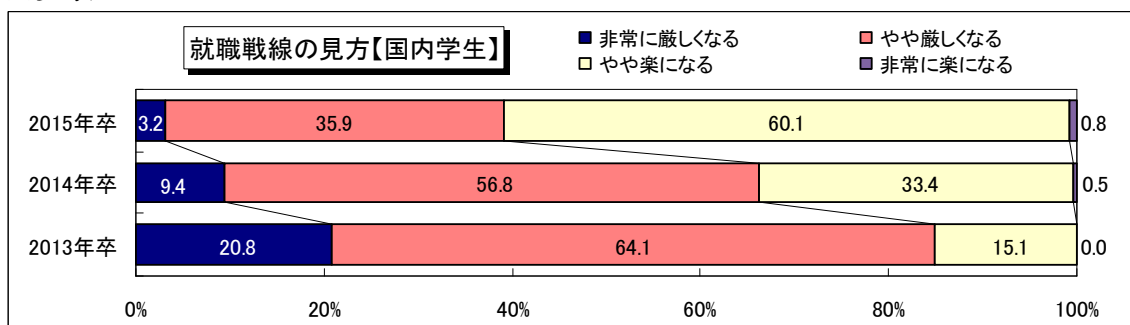
※日経就職ナビは日本経済新聞社が主管し、株式会社日経HRが企画・管理を担当し、株式会社ディスコが運営事務局を務めています。

図表 1



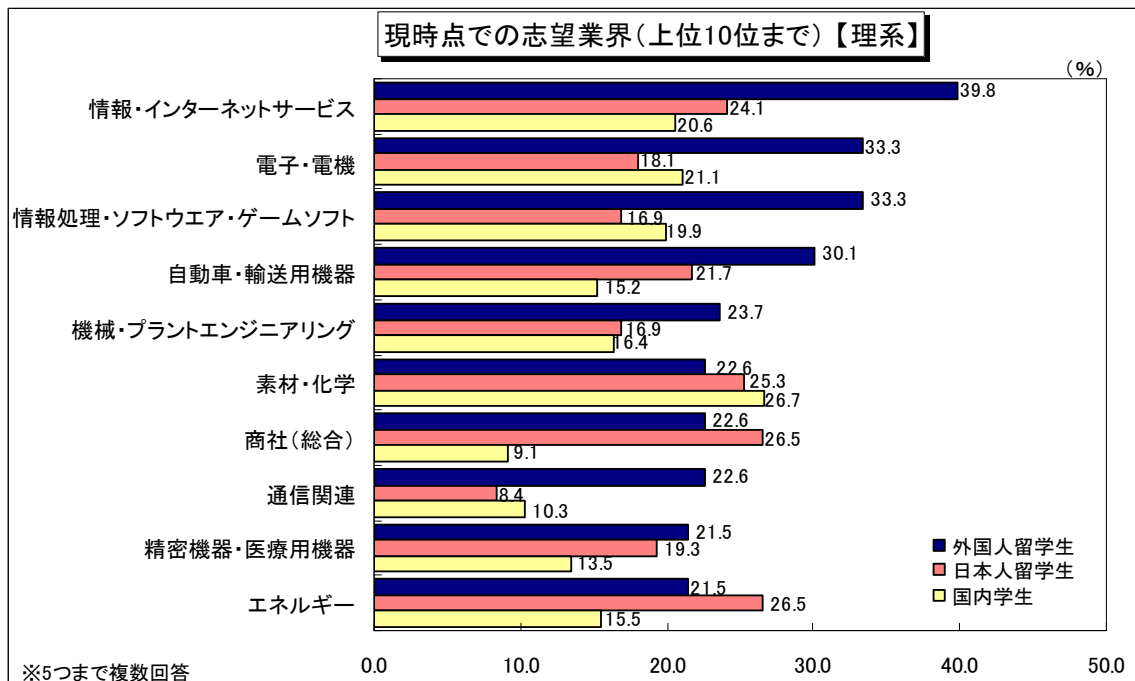
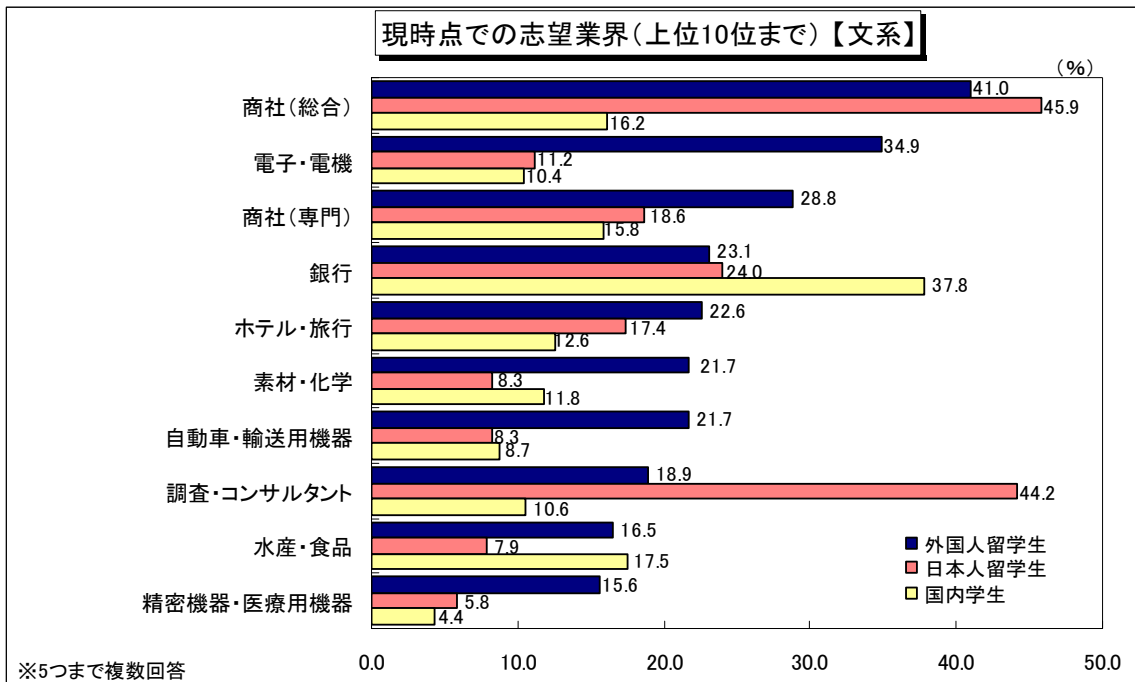
資料出所：2015 年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014 年 4 月発行）

※参考データ



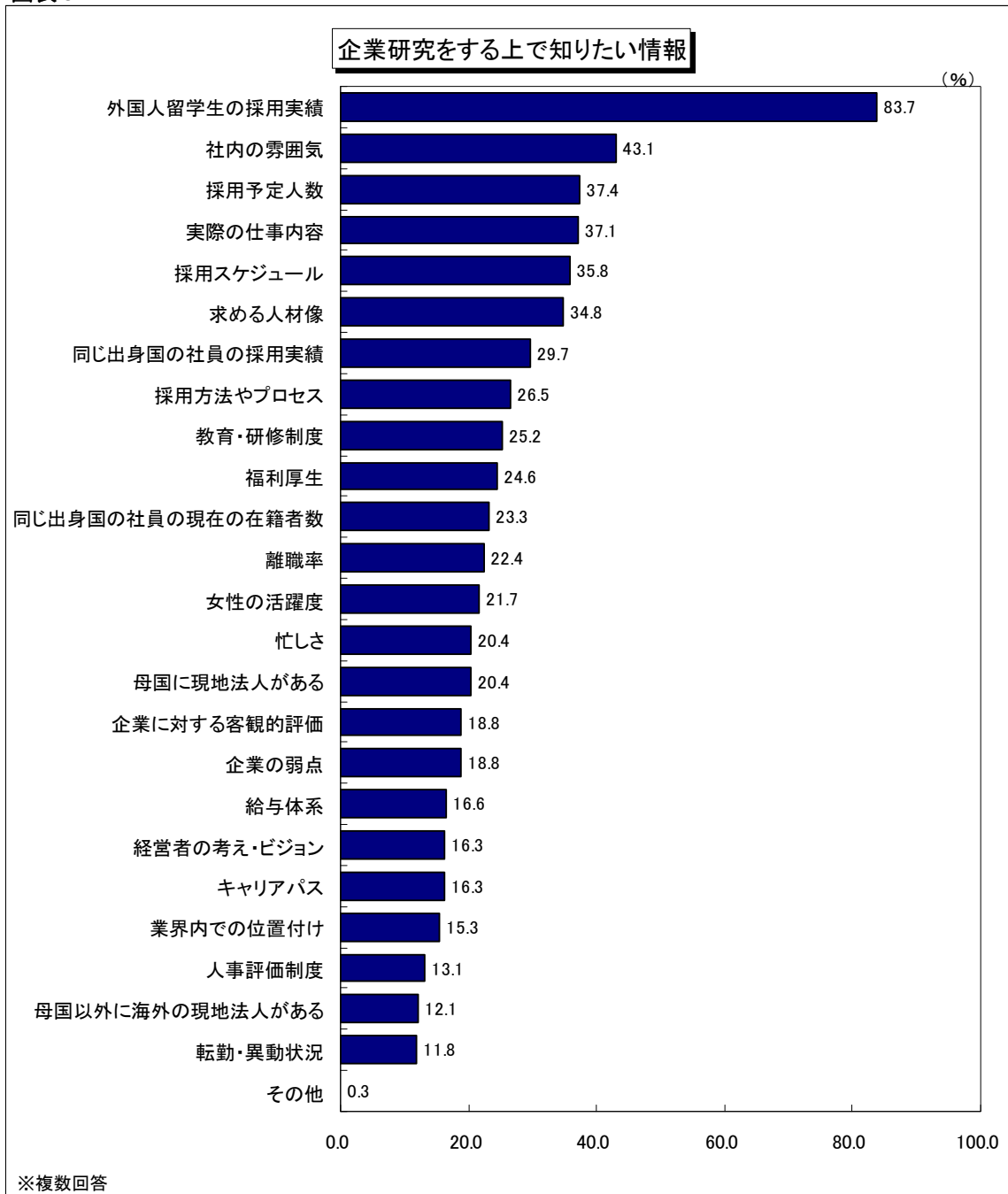
資料出所：2015 年度 日経就職ナビ 学生モニター調査結果（2014 年 1 月発行）

図表 2



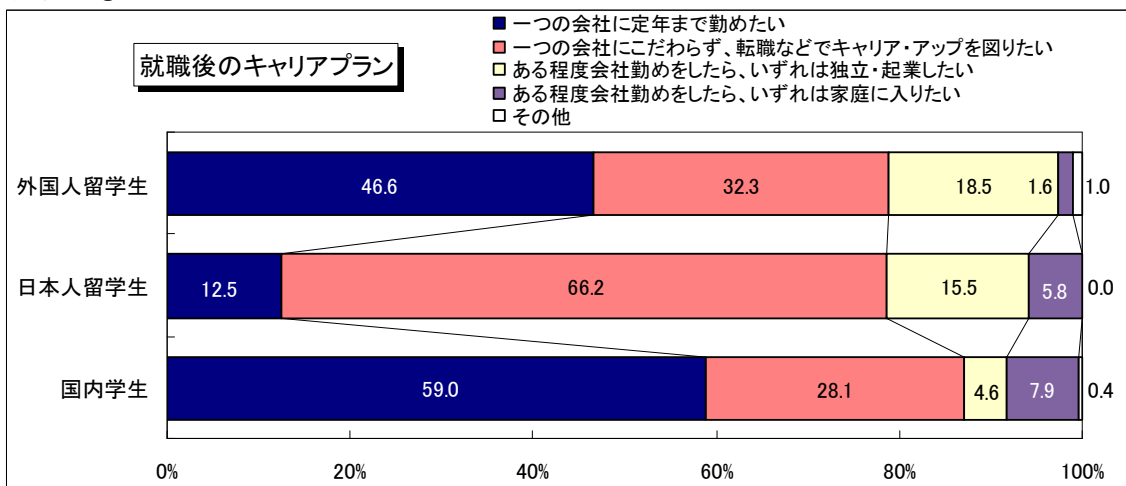
資料出所：2015年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014年4月発行）

図表 3



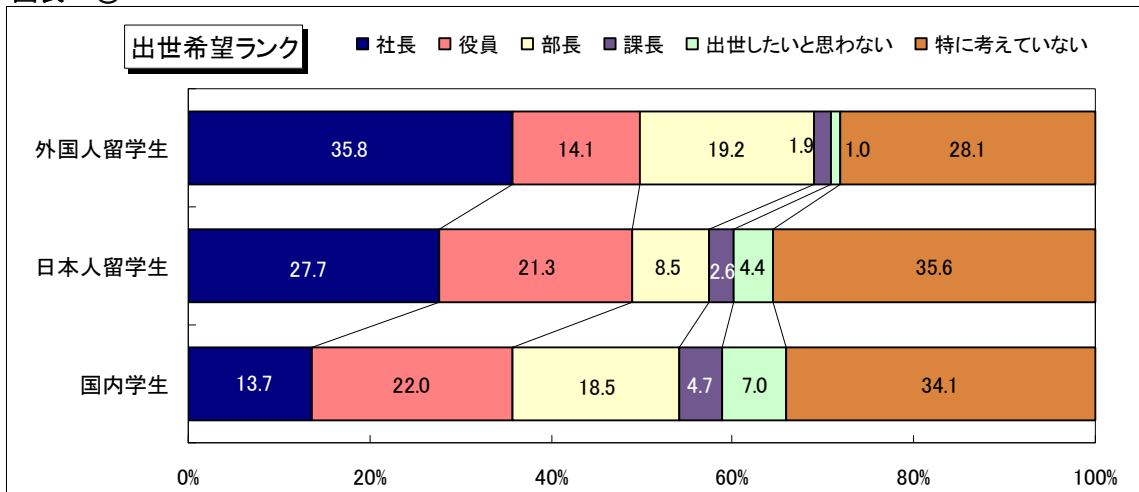
資料出所：2015年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014年4月発行）

図表 4-①



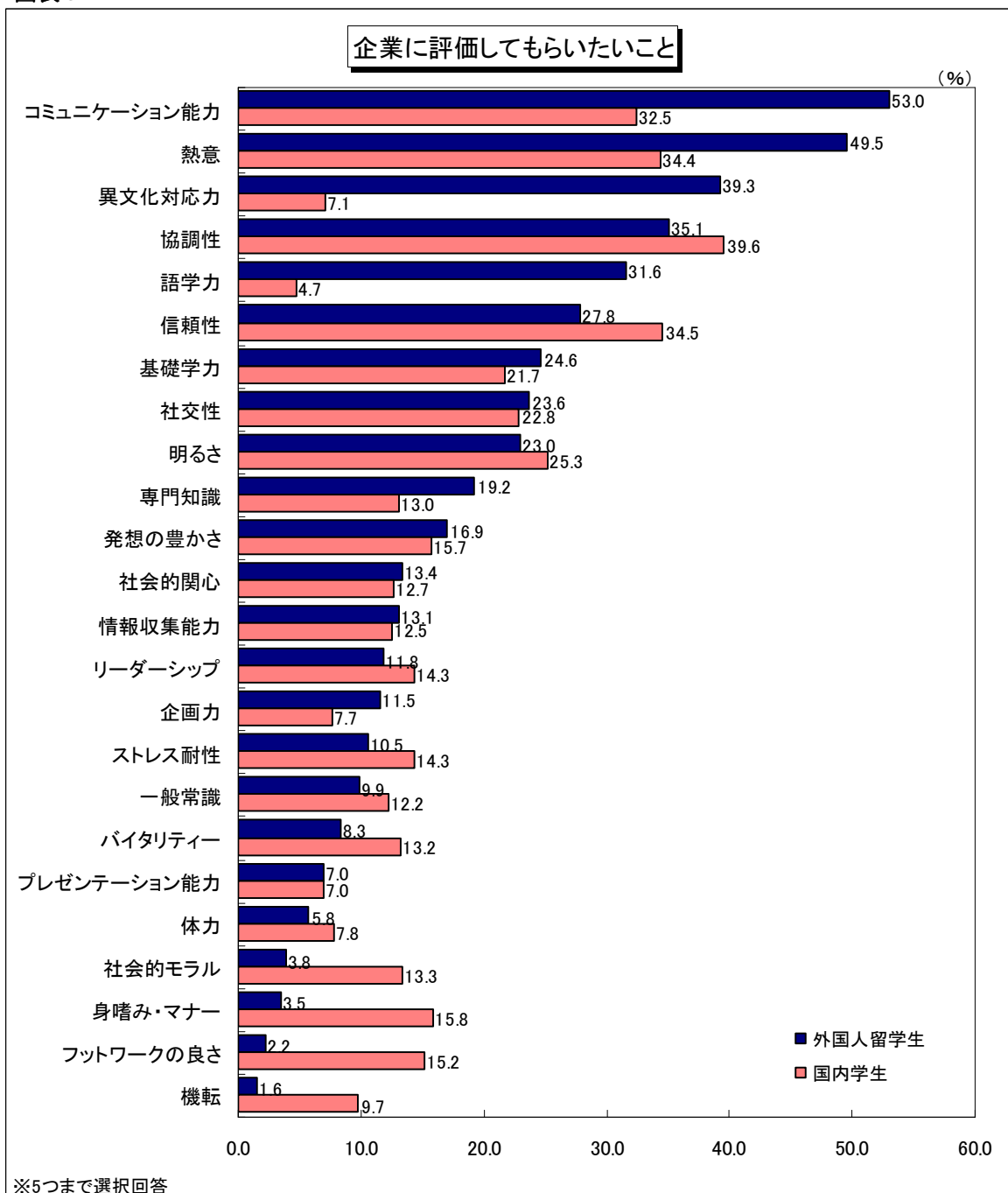
資料出所：2015年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014年4月発行）

図表 4-②



資料出所：2015 年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014 年 4 月発行）

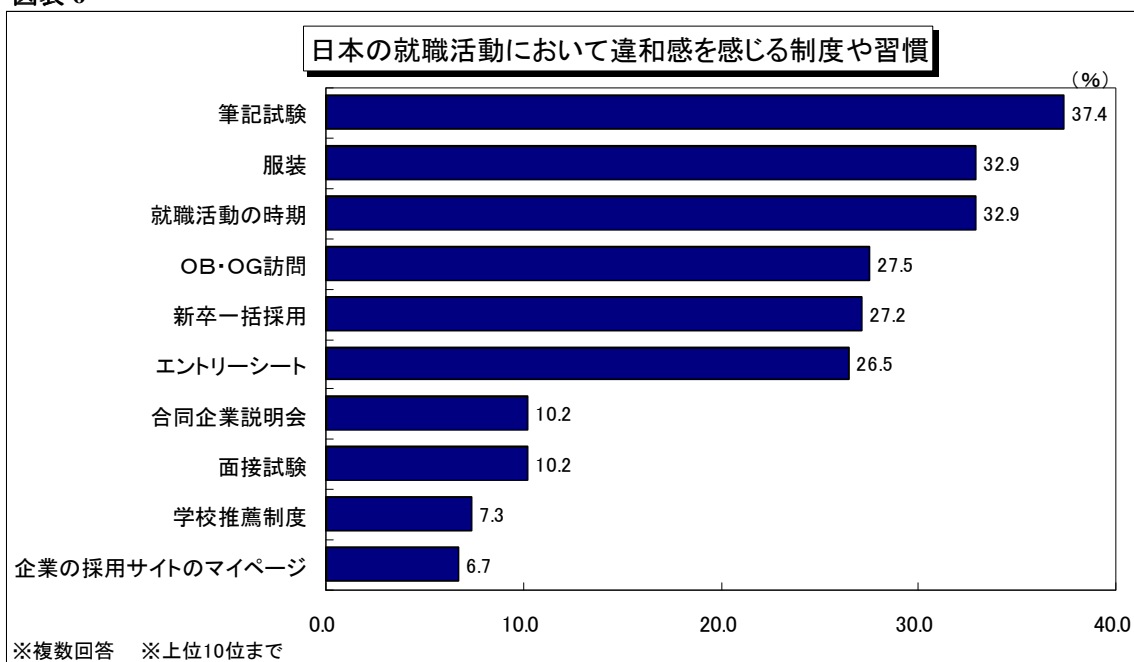
図表 5



※5つまで選択回答

資料出所：2015 年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014 年 4 月発行）

図表 6



- 企業側は「留学生の採用予定があるかどうか」について、はっきり明示していただきたい。  
<中国出身>
  
- 面接の回数が多すぎ、筆記試験で判断する企業が多いから、留学生にとっては非常に不利だと思う。  
<ベトナム出身>
  
- 服装、スケジュールなどに関するルール・定めが多すぎます。  
<ブラジル出身>
  
- 相談できる相手が少ないと感じました。  
<中国出身>
  
- 新卒一括採用制度に違和感があります。これを逃せば就職のチャンスが大幅に減るのは、理不尽な気がします。また、日本での就職活動の時期が長い上、説明会参加などの拘束が強く、学業の時間を割かねばならないことに不満を感じています。  
<中国出身>
  
- やはり、日本人と同じ立場で就職活動するのは簡単なことではないと実感しています。  
<韓国出身>

資料出所：2015年度 外国人留学生の就職活動に関する調査結果（2014年4月発行）